

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第7回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的な審議（公開）

（1）自主的審議事項について（公開）

3 開催日時

令和6年12月17日（火） 午後6時30分から午後7時25分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・ 委 員：保坂会長、片山副会長、小山副会長、稲葉（恵）委員、上原委員、
竹田委員、和田委員、渡部委員（欠席者4人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

8 発言の内容

【小池副所長】

- ・ 稲葉（里）委員、梅川委員、小竹委員、竹内委員を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は保坂会長が務めることを報告

【保坂会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：上原委員、竹田委員に依頼

— 次第2 自主的な審議（1）自主的審議事項について —

【保坂会長】

次第2 自主的な審議（1）自主的審議事項についてに入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・資料No.1により説明

本日は、今までの話し合いを踏まえて、自主的審議事項のテーマについてさらに話し合っていたきたい。

【保坂会長】

- ・今ほどの説明に質疑を求める。

（質問なし）

話し合いの途中で何かあったらその都度発言いただければと思う。

では、自主的審議のテーマの話し合いをしてみたいと思うが、資料1の下のほうにもあるように、前回の会議の全体での意見交換の中で、三郷に住み続ける理由や三郷の魅力について、それぞれ発言をいただいた。渡部委員から、「何故皆さんは、三郷区に居続けるのか。やはり何かそれぞれ感じるものがあるって、縛りの中かどうか、いろいろな人間関係の中で、ここに居ざるを得ない人達もいるのかもしれないが。でも、ここに居続けられる三郷の魅力というか理由もあると思うので、1人ずつ発表してはどうか」という提案で行った。そのときにいらっしゃらなかった4名の中で、差し支えない範囲の中で、稲葉（恵）委員と上原委員からも少しお話をしていただきたいと思う。最初の自己紹介のときに、ここにどんな経緯でいるのかというもお話しいただいたが、ちょっと違った視点でまたお話をいただければと思う。

【稲葉（恵）委員】

美しい景観というところでは、私も山が好きで、本当に妙高山が綺麗だなと思う。家からもよく見えるので、毎朝必ず山を見ている。そこは本当に魅力の一つかと思っている。あと、白鳥も感動するぐらい飛来していて、本当に景観は魅力の一つかと思っている。

【上原委員】

住み続ける理由という、縛りはもちろんあるが、三郷区はキャパがちょうどよいというか、何となく皆さんの顔がわかり、名前がわかる。よそは知らないが、多分よそに行ったらこんなに皆さんの顔を覚えることができるのかと思う。人が減り続けるとは言うが、ちょうどいいぐらいの地区という魅力を感じて住んでいる気はする。

【保坂会長】

顔がわかったり、小学校の繋がり、親同士が繋がったり、子どもたち同士が繋がったりということで、ちょうどいい地域なのかもしれない。災害が起きていないというのも安心感の部分ではあるかもしれない。私は先日輪島と穴水へ行ってきた。5月に行ったときから比べるとビニールシートの数は減ったが、壊れた家はそのまま、まだ解体されていなかったりしている。三郷区は災害がなくて、お互いがわかりあえて、そんなに特徴的な人がいないというのも、いないと言ったら失礼だが、みんな穏やかな人なのかと思ってみたり、それが今いい部分で出てきているのかと思ったりもする。

では、自主的審議事項で話し合うテーマについて決めていきたいと思う。先ほど事務局から説明していただいた中にあるように、事前に正副会長と事務局で話し合ったときに、ちょっと絞って皆さんに提案したほうがよいのではないかという話が出て、この中で、皆さんに以前配った地域活性化の方向性の2番目と6番目が、ここからの部分で集約できている部分があるのではないか。つまり、2番目が、田園と山々が織りなす四季折々の美しい風景を守り魅力を発信するというのがあった。6番目が、地域全体で高齢者や子どもたちを支え合うまちづくりの推進だが、その部分と私たちから出てきた意見として、そこに繋がっていく部分があるのではないかという話が出た。

それで、その二つを中心にしてやっていったらどうかということで、皆さんに提案をしていきたいと思う。今、提案として、「田園と山々が織りなす四季折々の美しい風景を守り魅力を発信する」というところで、どういうテーマにしてやっていくか、方向性として、いわゆる環境の良さを魅力発信するという部分でやって

いくか、あるいは、高齢者、子どもたちを支え合うまちづくりの推進ということで、高齢者や子どもたちに視点を当てた形でやっていくかを決めていけばいいかと思う。前期はテーマが二つあって、前期の委員だと結構出席率も良かったので、二つの班に分かれて話し合った。今回、若い方が委員になられたので、仕事の関係でどうしても都合がつかないという方が出るのは仕方がないかなと思うので、二つに分かれて同時並行でやるというのは、今回の場合はちょっと人数的に厳しいかなと私は感じている。それぞれ4人いれば大丈夫だからそれでもいいよという意見もあるかもしれない。でも、委員1年目の方が多い中で、二つに分かれるということの不安感もあるかなと思ってみたり、私の頭の中では決めかねている。二つとも取り組みたいけれども、例えば、順番を決めるとか。全員で一つのテーマでやっていくという方法もあるし、二つやらないで一つだけをこの任期内にずっとやっていくというのものもあるし、皆さんのほうでご意見をいただければと思う。

【和田委員】

前回の意見等も見ると、この両方を進めていけばよいかと思う。田園風景だったり、そういう魅力の発信という部分も必要だと思うし、地域全体で高齢者から子どもたちまでが安心して暮らせるまちづくりというのも、とても話し合いたいテーマではあるので、人数が少ないかもしれないが2点挙げてもらったので、その2点について皆さんで話し合えたらいいかなと話聞いていて思った。

【保坂会長】

確認だが2点やるにしても、全員で2点の順番を決めてやるのか、半分に分かれてやるのか、どちらがよいと思うか。

【和田委員】

どれだけの人数が参加できるかにもよるかと思うが、順番を決めてやっていくのもいいかなと自分は思う。

【渡部委員】

私も1点に絞らず、せっかく出た意見なので、2点進められればと思っている。どのようにやっていこうかなというところはあるが、順番を決めたときに、任期が4年だから、はたしてまとまるのかという不安もある。順番を決めたとしても、初

めてな人が多いからまとまるのかというところが不安で、二つのチームに分かれて同時並行で取り組むのも、仕事をしているので、欠席者が多いと班ごとに進捗状況に差は出てしまうので、ちょっとどうなるかなという気はする。決めかねているが、やはり2点進めるというところは私も1票入れたいと思う。

【竹田委員】

私もこの2点を一つだけに絞るとするのは、両方ともよい意見なので、それはしたくないので、2点をやりたいが、同時進行はちょっと難しいのではないかなと思う。1個ずつやるほうがよいかなと思う。例えば、4年で2個にならなくて1個だけしかできなくても、それはそれでよいのではないかなと思う。一つでもよい方向に進むのだったら、1個だけでもよいのではと思う。そうするとグループに分けないということではよいのではないかな。

【上原委員】

二つのテーマはもちろん賛成である。その時々で一つになったり、二つになったとしても、前に進めるのであるならば、あまり型にこだわらなくてもよいのかなと思う。今、竹田委員もおっしゃったが、一つしか取り組めなかったとしても、また、次回の新しい協議会のほうに引き継ぐこともありなのかなとお話を聞いて思った。

【稲葉（恵）委員】

私も一つの班でいいと思う。

【片山副会長】

私も今この二つを出して、検討していこうという案については、よいと思っている。私は、同時よりは、どちらか先にやっていくほうがよいかなと思う。いろいろな意見も出たり、また、今まだ到達点というようなニュアンスもできていない中で、いろいろな方向に行く場合もあるかなと思うので、一つずつでいきたいと思う。もうちょっと意見を言わせてもらおうと、特に高齢者の問題は三郷区だけではなくて、どこでもある問題であるし、もう一つは、三郷区の魅力というものになってくると、妙高山が毎日拝めることはすごく素敵だという委員が非常に多くいたと思う。ここにいけば、そのことは当たり前であるが、他にも魅力でありながら気づいていない部分があるのではないかな。何か三郷の魅力を少し掘り下げてみたいと個人的に意見と

してはある。

【小山副会長】

皆さんの意見を聞いていて、最もだと思うところもあり、前期のテーマであった公民館と春駒について考えると、それなりの人数がいないと2班に分かれて作業をしていくというか、計画を進めていくのは難しいと思うところもある。実際、私は春駒班だったが、月に何回か集まったりもしたし、当然、踊りの稽古となるとそれなりに先生を呼んだり、今は民謡を習ったりしているので、先生の送迎もスタッフのほうでやらなくてはいけなかったりするの、それなりの人数が必要だし、欠席者がいる中で班に分かれて作業を進めていくのは難しいと思うので、皆さんで話し合いをしながら進めていくのがよいと思う。高齢者のテーマも魅力を発信するというテーマもどちらも魅力のあるテーマなので、私もこの二つを進めていきたいと思うが、進め方にしても今後またみんなで話し合っ、どのように進めていくか考えていかななくてはならないと思う。

【保坂会長】

まとめると、二つやれたらよいというのが全員で、順番を決めてとか、同時並行といろいろ意見があったが、多いのは、順番を決めてだが、順番を決めたとしても、例えば、2番の「田園と山々が織りなす四季折々の美しい風景を守り魅力を発信する部分」は、意外と具体的な部分が見えやすいというか、想像しやすく、実現可能な部分というか、取り組みやすい内容かなという感じもする。皆さんも景色のすばらしさを知っているので、その辺をまずやって、次に、地域全体での高齢者、子どもたちの部分について話し合う。一つのテーマについて、そればかり取り組んでいて、ちょっと疲れてきたりする部分があったりしたときに、そういえばこんな話が出ているが、みんなでこの部分も話をしてみないかということで、基本的には順序を決めてやるが、それがきちんと終わらなければ、次のテーマを始められないという形はなくしていくっていう形でいかがか。

皆さんの意見を聞いてひらめいたのだが、会長の単独の提案で申し訳ないが、そんな形で進めるということでもよろしいか。やっていって、こういう形ができるのではないかと、こういう形に変えていけば、もっと自主的審議事項の話し合いのテ

一マとしてよいのではないかというのがあれば、また皆さんでその時点で相談をして、三郷区地域協議会として柔軟に、皆さんで相談しながら、いい形を探りながらやっていけたらいいかなと思う。今の時点では、二つやって順番を決めるが、2番目の田園と山々が織りなす四季の関係の部分を作りながら、子どもたちの部分もちょっと時間的にあれば話し合いをやっていくという形で、次回の審議のテーマについて準備を事務局と相談しながら、させていただきたいと思う。

【小池副所長】

今、二つのテーマでやっていこうとお話をしていただいているが、「山が織りなす四季折々の美しい風景を守り、魅力を発信」というのは、前期の委員が構成要素の一つとしてまとめていただいた言葉だが、これだけ見ると風景が綺麗で、その風景を守って魅力を発信というのは、なにか、風景のことだけを言っているような感じがする。でも皆さんのおっしゃっていることは、妙高山やハクチョウも綺麗だが、住みやすさとか、人と人の顔がわかるというような、そういう魅力もあると思うので、このままの文章で自主的審議事項として決めていただくと、上越市のホームページに載ったり、対外的にも発表するようなものになるので、テーマとしてこの文言がこれでよいか、もう1回お話をさせていただきたい。例えば、三郷区の魅力を発信することについてでもよいが、その風景だけではないと思うのでその辺のご意見をいただきたいと思う。

【保坂会長】

自主的審議事項という表題にすると、このままこの言葉を使うっていうのは、確かにちょっとそぐわない。自主的審議事項という事項に合うような言葉に変えていかなくてはいけないということか。皆さんの方で何か意見はあるか。

【渡部委員】

今話を聞いて、何かふっとよぎったのが、私は前回、魅力とかを聞いた張本人だが、きっとみんな風景と言えば、山、雪景色と自然というのが先に来るが人と人が交流している場面もそれは風景である。私がお話を聞いて、ここの地域で大事にしたいというのが、確かに自然の風景も好きだし、見なれているから安心するけれども、人と人が交流しているところも好きで、運動会の風景とかも好きなので、

この自然の四季折々の美しい風景というところと、支え合うまちづくりは、私の中で一緒である。その支え合うというか、自然だけではなくて、交流している町全体の風景を守りたい。だから、分けて考えると、私の中ではちょっと違和感があって、これは私の中では一緒なので、町全体をぱっと見て目に入ったその風景を大事にしたいくて、私が良い時代というのは平成初期だったりするが、自然と人を分けて考えるというところが私の中では違和感がある。だから、分けて考えたほうが進めやすければそれでよいとは思いますが、自然と人を分けてしまうと、何となく、ただ私個人は違和感が出てくるという意見である。

【保坂会長】

何となく感覚的にわかる。

【片山副会長】

余りにもありふれているかもしれないが、三郷の自然、四季、人、そして、暮らし、その辺が絡みあっているの魅力だと思う。

【小山副会長】

この二つをまとめて、美しい風景というわけではなくて、例えば、この三郷区の地域のよさを守り、魅力を発信するみたいな感じのニュアンスにしていけばどちらも進めていけるのかなと思った。風景も先ほど言った運動会だったり、そういうのも入ってくるのかなと思っていて、実際この2班での話し合いのときに、写真コンテストをやってみたらどうかという話をしている、妙高山だったり白鳥だったり、田んぼの風景にしても四季折々、いろいろな姿があったりとかする中、山とか田んぼとかだけではなくて、運動会や地域のイベントだったり、そういうのも全部含めてのコンテストみたいな形にできれば、風景と人を別々に考えないで一つにもできていくのかなと思った。

【保坂会長】

他にどうか。

【上原委員】

表題の問題なのか。

【大島所長】

自主的審議事項のテーマについては、だいたい取り組みたいことが伝わればいいので、例えば「魅力の発信について」など、まずは、テーマを決めてもらうことで、それがホームページで公開され、三郷区地域協議会で話し合っていることが公表される。

【上原委員】

あまり自然の風景に特化せずということか。

【渡部委員】

三郷地域の風景とかにすれば、全部がひっくるめられるのではないか。

【保坂会長】

先ほどおっしゃったように風景の中身をもうちょっと具体的な文言を入れて、地域の景色だけではない、人と人が織りなす、そういう部分も含めた上でのものの魅力の発信とかというような言葉をうまくそれらしくつなげてテーマにする。その部分を、正副会長と事務局のほうに皆さんから今いただいたご意見をもとにして考えるという形で、次回、それを持ってきて、また皆さんに提案して検討していただくという形よろしいか。

(意見なし)

以上で、次第2 自主的な審議(1) 自主的審議事項についてを終了する。

— 次第3 事務連絡 —

【保坂会長】

次第3 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

【小池副所長】

- ・ 次回の日程について確認
- ・ 第7回地域協議会：1月28日(火) 午後6時30分から 三郷地区公民館

【保坂会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【保坂会長】

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。